



大野川中学校 八田 萌愛

● 安曇地区 ●	
741世帯	
男	782人
女	763人
合計	1,545人
H30.3.1現在	

公民館長退任の挨拶

—三年間を振り返って—
上條 敦重

平成二十六年六月に、高校卒業以来四十年以上にも渡り悲喜こもごも暮らした東京から地元島々に戻った私は、翌二十七年四月、斉藤館長から安曇地区公民館長を引き継ぐことになりました。

当時は、地元の人の名前と顔や家がわからない。お店も市内の道や施設も人に聞く有り様で、そんな浦島太郎のような私を支えてくれたのは同級生や先輩後輩たちでした。無我夢中で突っ走り一年目はあつという間に終わり、ふと振り返ると社会教育（生涯教育）は面白いし、今までの経験や知識を全て活かすことができると感じました。

そういう意味では、振り返ると私が公民館長に相応しかったかどうかは別として、私には相性が良かったのでなく、地区の講座や行事だけでなく松本市の事業、「学都松本」

や「公民館研究集会」などにも引つ張り出され、忙しくて目まぐるしい日々でしたが楽しく仕事ができました。

また唯一の地区全体の行事「安曇地区文化祭」も毎年参加者も増え、地区の皆様にも支えられるシステムも形になり盛り上がりつつあります。

今、公民館に求められる課題は安曇の「地域づくり」です。支所・センターと協力してこれからは誰かが経験をしたことがない社会に向かい試行錯誤をしながら地域づくりをしていくことです。それには住民の皆さんの協力が不可欠です。新しい公民館長をよろしくお願いします。

最後に、至らなかつた私を叱咤激励していただいた皆様に感謝申し上げます。三年間本当にお世話になりました。

離任御礼

安曇公民館 百瀬 芳朗

公民館勤務の一年間は、これまで経験したことのない数々の行事によって、心豊か

2/28 松本市体育協会 さわやか健康フェスティバル 「冬の上高地をスノーシューで歩こう」 共催：安曇公民館

松本市体育協会主催の「静寂の冬の上高地をスノーシューで歩こう」が2月28日に開催され、安曇地区外からも定員を超える応募があり、人気の高さがうかがえました。

参加者18名にスタッフ4名で釜トンネルから徒歩で上高地に向かいます。トンネルを抜けてしばらく歩くと大正池に到着。梓川河畔、田代湿原、田代池とスノーシューをはいて散策。

別天地のような上高地で4時間半過ごし、下界に無事戻ってきました。「中の湯」に入浴して、山も温泉も満喫しました。



帝国ホテル周辺の熊笹の上を歩きます

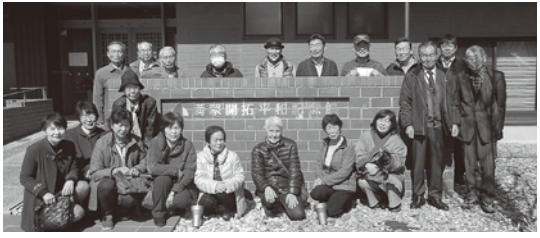
雪におおわれた穂高連峰がくっきり！
冬の澄んだ空気の中で静かにたたずむ威容と美しさに圧倒されました。

で有意義な一年となりました。初めて知った地元の歴史や文化、山でのさまざまな体験が、知的で五感に響く刺激となつて、日々を豊かなものにしてくれました。

2/26 奈川・安曇地区人権啓発推進協議会 「満蒙開拓平和記念館」視察研修

両公民館共催

昭和初期、日本政府は現在の中国東北地方に「満州国」を建国し、20年間で500万人の日本人を移住させるといふ「満州開拓移民計画」を打ち立て、これに基づき全国各地から27万人の開拓団を送り込まれました。その中で最も多かったのが長野県で、約3万7千人（14%）とされています。この開拓団で奈川や安曇地区からも行った人もいました。



下伊那郡阿智村の満蒙開拓平和記念館を訪れ、戦後多くは語られることのなかったその歴史を学び、平和について改めて考えました。奈川から9名、安曇から11名参加。

多くの犠牲者と日本人残留孤児が発生しました。このような犠牲者への供養のため全国に慰霊碑が建立されています。



冬の上高地を歩こう!

私たちは2月8日に上高地にネイチャースキーをしに行きました。

はじめは、トンネルの中では先が見えなくて辛かったけれど、外に出たら焼岳が見えて、とてもきれいでした。スノーシューを履いて歩いてみると、大正池が見えました。私は初めて冬の大正池を見ることができてとても心に残りました。お昼になると少し吹雪いてきました。

でも河童橋に行くことができたので、辛かったけれど、達成感が得られて良かったです。



雪の上を沈まずに歩いて楽しいスノーシュー

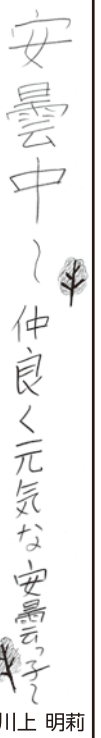
スノーシューを履いたのは初めてだったけれど、雪の上を沈まずに歩けるのが楽しかったし、めったに体験できないことを体験できたので良かったです。

(2年 齋藤 愛)

スキー・スノーボード教室開催

1回目のスキー教室では、スノーボード。2回目は、スキーをしました。スノーボードもスキーも小さいころからやっていたので滑ることはできるのですが、なかなか上手になりませんでした。

1回目の教室では、スノーボードのカービングの方法、板を立てること、体勢維持して滑ることを教わりました。2回目の教室では、スキーのシテムターンを教わり、スキーを平行にして滑れるようになるための練習をしました。スキーもスノーボードも、教室の時間内では、上手にできるようにならなかつたけれど、練習方法などを教えてもらえたので、これから自分で滑りに行くときに練習してみたいと思います。いろいろな



タイムカプセル

2月27日の朝の時間に、安曇校開校50周年プロジェクトの一つであるタイムカプセル設置式を行いました。中に入る物は一人一人の10年後の自分への手紙でした。僕は『何を書こうかな』と思いました。そして今の趣味などを書きまわした。その手紙を代表者がまわりました。そしてそれを3年生が一人一本ずつネジを締めて



目標を決めて練習することができました

ことを知れてとても充実した時間になりました。寒かったけれどすごく楽しかったです。(3年 神田 雅翔)

いきました。僕は『10年後どうしているかなあ』と思いました。(2年 片桐 一秋)



10年後の自分はどうなっているのだろう。夢と希望を込めた手紙。楽しみです。

スキー教室

1月19日(金)にスキー教室がありました。中学1・2年生全員スノーボードになり

新しい生徒会

今年の1月から、新しく事務局という委員会が出来ました。私がその委員長になったので何をしようか考えていました。そして私が議長になって初めての生徒総会がありました。私が考えた事務局の活動計画にたくさん



新しくなった生徒会。皆で盛り上げていきましょう。

見質問が出されました。でも、「それだけ信頼してくれているんだなあ。」と思いき、ありがたかったです。生徒総会が終わった後も、色々な企画について考えて決めていきたいです。(2年 奥原 菜美)



天気も良くてサイコーです!! 私たちもう上級者!?

ました。3つの班に分かれてそれぞれの練習をしていました。私たちの班は、午前中は下の方で練習をしていました。ですが午後からは上に行くことになりとても楽しかったです。上級者班の人達は最初から弧を描くように滑っていました。午後になると皆すごく楽しんでいて、見ている方も楽しくなりました。(2年 藤山 ひより)